

平成28年11月22日

2学年保護者 各位

「台湾の旅」のご質問・ご意見について

2学年主任 田代 豪

先週はご多用の中、第2回父母教師会2学年総会にご参会いただきまして誠にありがとうございました。また、1学期に保護者のみなさまからいただいたご意見へのご回答が十分にできずご心配をおかけしました。これまでものを踏まえて、台湾の旅への学校としての事故対応等を回答いたしますので、ご理解の程よろしく申し上げます。なお、さらにご質問・ご意見のある場合は、12月から個別面談会が予定されていますので、直接学級担任または、田代までお申し出下さい。

Q 大学生とともに活動することで安全性は確保されていますか？

A B&S プログラムは、各旅行業者が海外での修学旅行で国際感覚を養うために用いられる実績のあるプログラムです。台北市内では、日本人学校の生徒が B&S プログラムを活用して班別学習を行っています。案内の学生は1班につき1名から2名に増員します。また、私たちの学年では、1年次の東京班別学習で、留学生のガイドで半日、留学生にかかわる関連施設を見学しています。安全なプログラムでありますし、また安全を最優先に運用してまいります。

Q 班員がはぐれた時にはどのように対応しますか？

A1 生徒へ事前の指導

- ・ 単独では行動しないことを徹底します。
- ・ 各班にレンタルスマートフォン（E2 ナビ）を持たせ、はぐれた場合はすぐに本部に連絡を入れさせます。
- ・ ホテルカード（ホテル名、住所、中国語で「ホテルまで生徒を送ってほしい」と乗務員が分かるようにしておく）を一人一枚配布しておきます。

A2 当日の職員の動き

- ・ はぐれた事態になったらすぐに班長に本部まで連絡を入れさせます。また合流した際にも本部に連絡を入れさせて安全を確認します。
- ・ B&S のガイドには班員がはぐれたり、予定の時間に行動できなくなったりすることがあれば、すぐに本部に連絡を入れさせ、本部の判断で次の活動を指示します。

Q 盗難にあった時はどのように対応するのですか？

A1 生徒への事前指導

- ・ 体の前で鞆を持つことの必要性を指導します。また、日常から鞆のチャックを確実に閉めさせ、自分の荷物の管理を徹底させます。

A2 当日の職員の動き

- ・ 班長に本部まで連絡を入れさせ状況を報告させます。またガイドにも本部に連絡を入れさせ、状況や現在地などを報告させます。報告を受け、副校長、現地スタッフ、学年主任で検討し、その後の行動を決定します。

Q 班別学習中は飲食してもいいのですか？

A 班別活動中は飲食しないように指導します。

Q ホテルの耐震は大丈夫ですか？

A ホリデーインイースト台北は耐震性のあるホテルです。過去数回大きな地震がありました但し問題はありませんでした。また、地震など起きた場合は、「非常ベル」「アナウンス（英語・日本語）」「各部屋ノック」で対応し、安全な場所へホテルの従業員が誘導します。

Q 他の利用者とのトラブルやクレームはどのように対応しますか？

A1 生徒への事前指導

- ・ ホテル内での大きな声での会話や笑い声、奇声が他のホテル利用者の迷惑になることを指導します。
- ・ 一人でホテル内を移動させません。必ず同室の生徒と共に移動させます。

A2 当日の指導

- ・ 生徒が部屋に入ってから巡視職員が確認し、迷惑を掛けている場合は該当する部屋に行き注意します。

Q 体調不良への対応はどのようにするのですか？

A 看護師・養護教諭の診断で、活動を継続するかどうか判断します。また、医療機関への受診が必要か判断します。医療機関への搬送が必要になった場合は、添乗員と職員、看護師・養護教諭が付いて生徒を搬送します。ホテルから総合病院「萬芳医院」はタクシーで10分ほどです。救急対応もできます。現地の医師の診断を受けて、活動が継続できるかどうか判断します。

帰国が必要になった場合は、添乗員、看護師・養護教諭、職員が付いて、生徒を羽田空港まで移送します。羽田空港で保護者に生徒を渡しますので、保護者には日本の医療機関でお子さんを受診していただきます。

Q 食物アレルギーはどのように対応するのですか？

A1 食物アレルギーの調査を実施し、アレルギーリストをホテル、夕食会場に送り、成分表をホテルや夕食会場に提示してもらい、個別対応を行います。

A2 健康上不安がある生徒については、日本からレトルト食品を携帯し、別室で食事を摂ることが可能です。

A3 健康調査を事前に実施し、一人一人の状況を把握するとともに、保護者と対応を確認しておきます。

Q 安全の情報はどうして保護者に伝えるのですか？

A 外務省 海外安全ホームページや台北事務所から最新の情報を得て、必要に応じて保護者にねっとなで情報を提供します。また、事前に重大な事案が発生した場合は、活動地を国内に変更することがあります。

Q 飲料水はどうするのですか？

A1 生徒への指導

- ・ 水道水は飲料水には適さないことを説明し、1日目の飲料水は事前に購入させておきます。

A2 現地での対応

- ・ ホテルにお願いして、市販のミネラルウォーターのボトルを各部屋の人数分用意してもらいます。
- ・ 2日目の班別活動中に必要な生徒は飲料水を購入させます。

Q 班はどのようにつくるのですか？

A 男女混合の4人～5人班とします。

その他

Q 換金はどうすればいいのですか？

A 事前に旅行業者から希望の金額を台湾ドルに換金してもらいます。現地では、飲料水の購入や班別時の施設への入場料金等が支出の内訳となります。また班別時に使用する、地下鉄や路線バスは事前に一日乗車券のカードを購入します。

Q そろいのTシャツを着たり、一目で「附属新潟中学校の生徒」だと分かる何かを身に付けたりして安全を確保できないのですか？

A 上着の着用が必要な時期です。また、特別なものを身に付けると逆に目立ちます。そのため、2日目、3日目の行動は式服（校章着用）とし、周囲に馴染みながらも附属中生だと分かるようにします。

Q バックの大きさはどのくらいの大きさがふさわしいのでしょうか？

A 3泊4日の旅行であり、旅行用のかばんと班別学習、学校交流、企業訪問時のショルダーバック等のかばんが必要です。また、大きな荷物は前日に学校から羽田空港まで運びます。帰りは自分で全ての荷物を持って帰りますので、持ち運びしやすいものをご準備ください。

Q 携帯品にはどのような物が必要ですか？

A 一般的な旅行に必要なものになります。次の保護者会でお示しします。

Q 服装はどうなりますか？

A 3日目の班別学習、中学校交流、企業訪問は式服とし、1日目と4日目は私服とします。3月上旬の台北はまだ寒さを感じる日もありますので、上着などで調整できる服装が望ましいです。
(過去のデータから最高気温 22.1℃, 最低気温 15.8℃, 平均気温 18.5℃)

※ 1月10～13日に職員2名で現地の下見を行います。その内容をもとに再度安全確保の観点から現地の活動について精査し、当日に臨みます。

※ 現地での活動の様子をホームページまたはねっとなでリアルタイムでお伝えします。

<問い合わせ>

新潟大学教育学部附属新潟中学校

2学年主任 田代 豪

TEL:025-223-8341